

# 平成 19 年度「にっぽん食育推進委託事業」における 「食事バランスガイド」キャンペーン調査結果の概要 質問紙郵送調査結果

## 調査概要

### 1 調査目的

全国における「食生活指針」、「食事バランスガイド」の認知度や参考度をとらえ、今後の施策展開をしていくにあたっての基礎資料とすることを目的とする。平成 12 年度からの経年変化についても分析する。

### 2 調査対象

東京圏・近畿圏調査

東京圏（東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県）、近畿圏（大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県）に居住する満 20 歳以上 70 歳未満の男女

地方圏調査

地方都市（札幌市、仙台市、名古屋市、広島市、福岡市）、郡部・小都市（東北地方、北陸地方、九州地方）に居住する満 20 歳以上 70 歳未満の男女

### 3 抽出方法

平成 17 年度国勢調査の人口構成に合わせて、(株)コンピューター・プランニング・リサーチの調査モニターを対象地域ごとに年齢で層化し無作為抽出

### 4 調査方法

郵送配布・郵送回収

### 5 調査期間

平成 20 年 2 月

## 6 回収数

	調査票 郵送数	回収数	回収率
東京圏・近畿圏調査	1,540 件	1,425 件	92.5%
地方圏調査	960 件	911 件	94.9%
計	2,500 件	2,336 件	93.4%

当該地域に居住する調査モニターのうち、アンケート調査への協力意向を示した方に、調査票を郵送している。

## 7 調査項目

- ・食生活指針について
- ・「食事バランスガイド」について
- ・キャンペーンの評価について
- ・食育について

本概要では、「食生活指針について」、「食事バランスガイドについて」を中心に、抜粋している。

## 8 検定

調査分析にあたっては、有意差の検定として、時系列比較を伴う複数項目の母比率の差検定を行っている。平成 18 年度調査と平成 19 年度調査で、5%以内の危険率で有意差が認められた項目については、「高い」「低い」等の表現をしている。

# 調査結果

## 1 食生活指針について

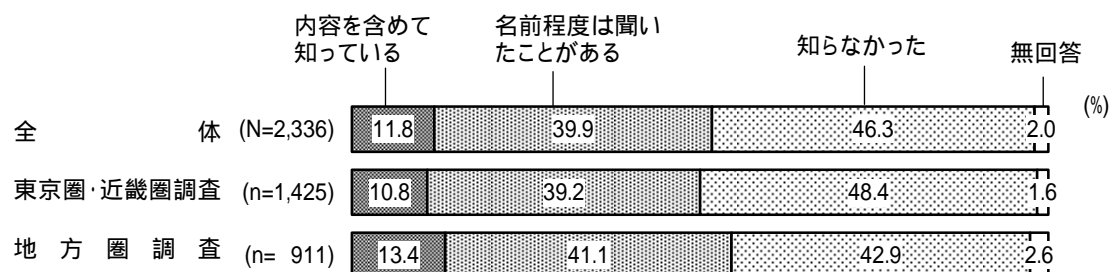
### (1) 食生活指針の認知度

食生活指針の認知度は、全体では「内容を含めて知っている」が11.8%であり、「名前程度は聞いたことがある(39.9%)」を合計した《知っている(51.7%)》は5割を超えている。

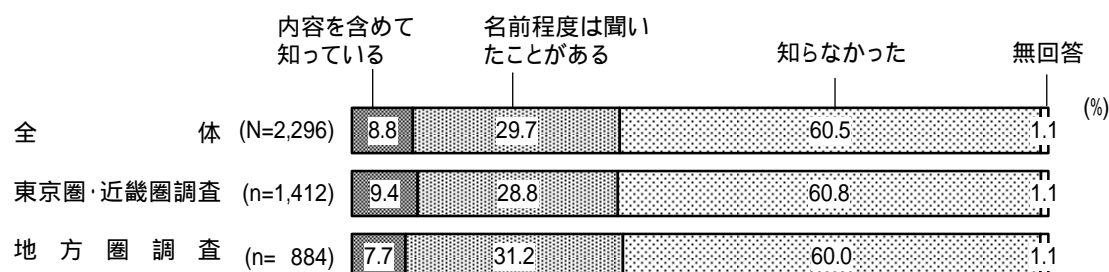
地域別にみると、東京圏・近畿圏は「内容を含めて知っている」が10.8%であり、《知っている》が50.0%となっている。地方圏は「内容を含めて知っている」が13.4%であり、《知っている》が54.5%となっている(図表1-1-1)。

平成18年度調査と比較すると、全体では「内容を含めて知っている(11.8%)」が平成18年度(8.8%)を3.0ポイント上回っている。また、《知っている(51.7%)》が平成18年度(38.5%)を13.2ポイント上回っている。

図表1-1-1 食生活指針の認知度(全体、地域別)



食生活指針の認知度(全体、地域別)【平成18年度】



## 2 食事バランスガイドについて

### (1) 食事バランスガイドの認知状況

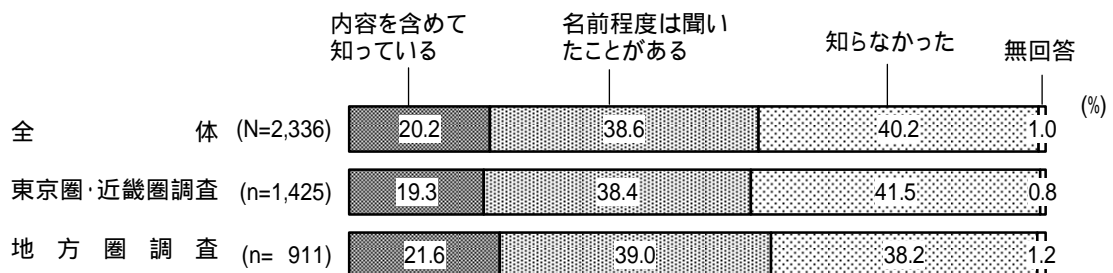
#### 食事バランスガイドの認知度

「食事バランスガイド」の認知度は、全体では「内容を含めて知っている」が20.2%であり、「名前程度は聞いたことがある(38.6%)」を合計した《知っている》は58.8%となっている。

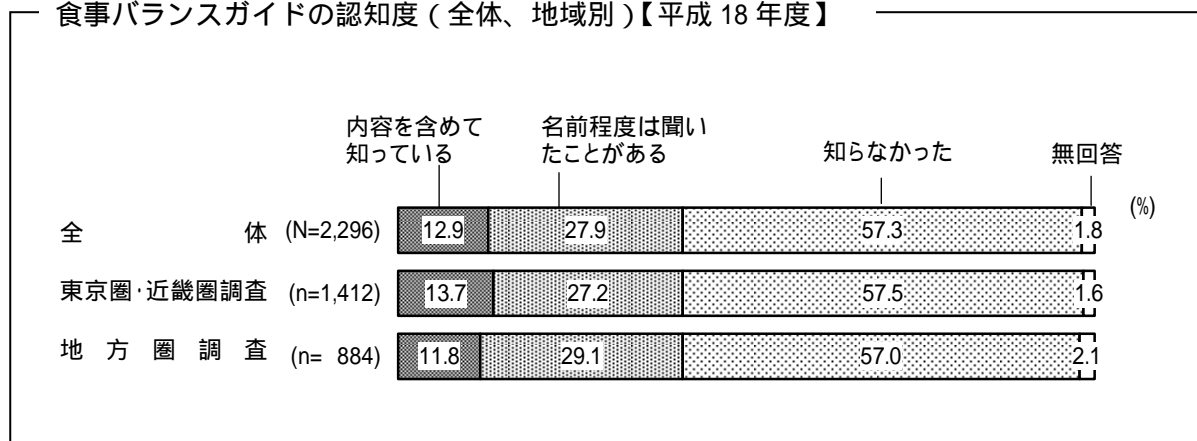
地域別にみると、東京圏・近畿圏は「内容を含めて知っている」が19.3%であり、《知っている》が57.7%となっている。地方圏は「内容を含めて知っている」が21.6%であり、《知っている》が60.6%となっている(図表2-1-1- )。

平成18年度調査と比較すると、全体では「内容を含めて知っている(20.2%)」が平成18年度(12.9%)より7.3ポイント高くなっている。また、《知っている(58.8%)》が平成18年度(40.8%)より18.0ポイント高くなっている。

図表2-1-1- 食事バランスガイドの認知度(全体、地域別)



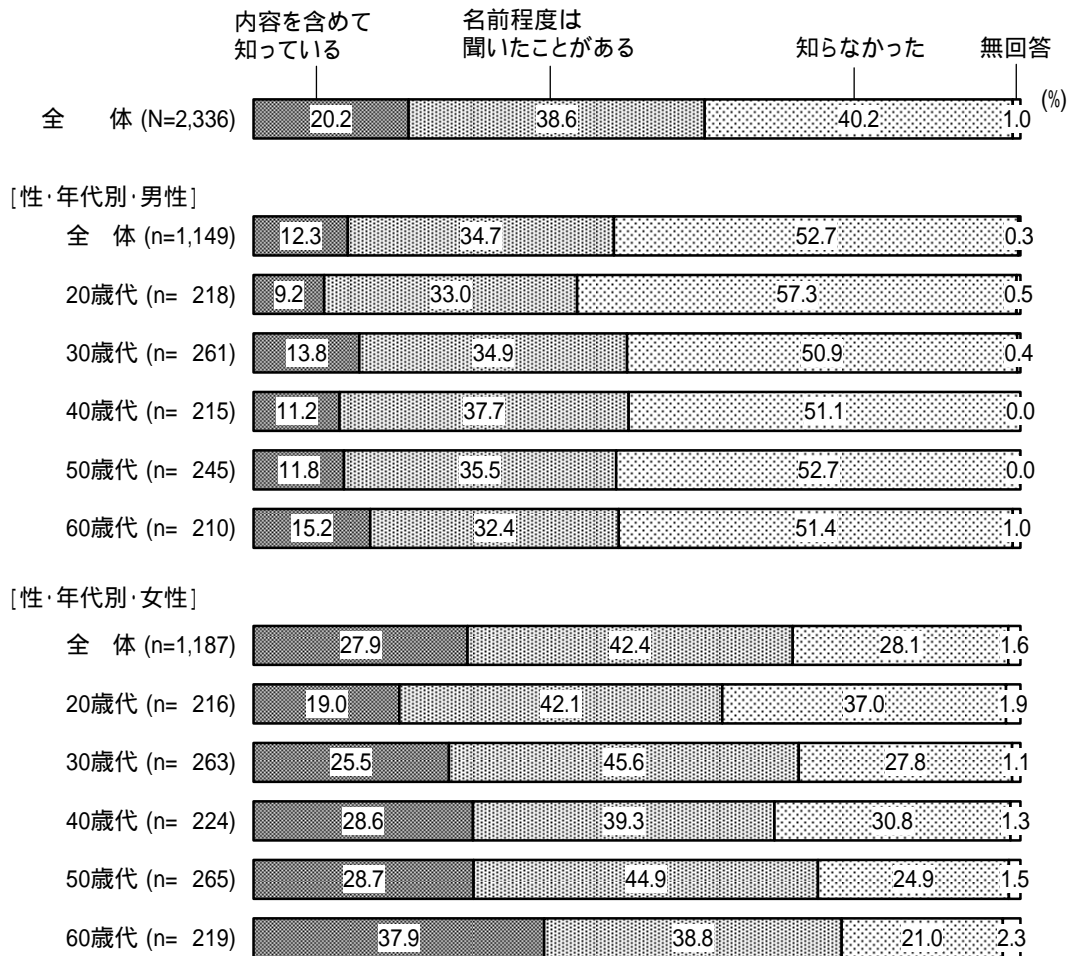
食事バランスガイドの認知度(全体、地域別)【平成18年度】



男女別にみると、女性は「内容を含めて知っている」が27.9%であり、男性（12.3%）を15.6ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男性は20歳代のみ「内容を含めて知っている」が1割未満であり、他の年代は1割台である。女性は、年齢が上がるにつれ「内容を含めて知っている」の割合が上がり、40歳代、50歳代では2割代後半、60歳代では3割代後半となっている（図表2-1-1-1）。

図表2-1-1-1 食事バランスガイドの認知度（全国：全体、性・年代別）



## 食事バランスガイドの認知経路

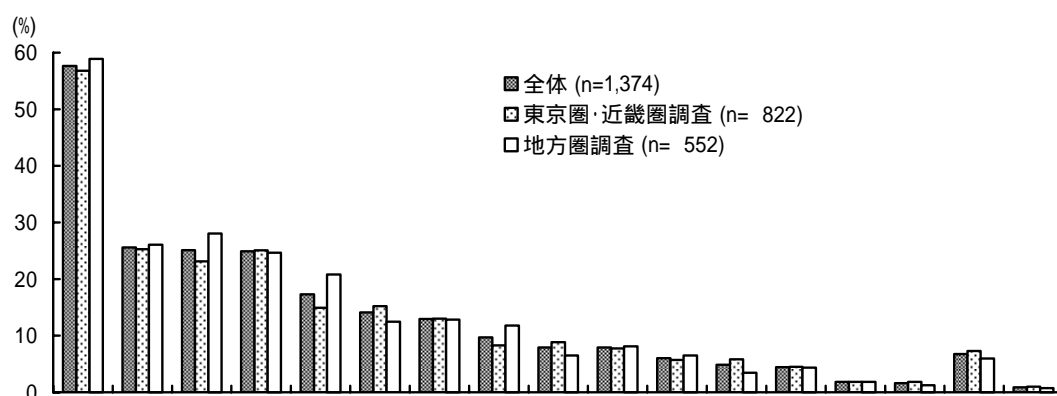
「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」、「名前程度は聞いたことがある」と回答した人に、「食事バランスガイド」の認知経路を聞いたところ、全体では「テレビ（57.6%）」が5割台後半であり最も多く、「ポスター（25.6%）」、「パンフレット・リーフレット（25.1%）」、「新聞（24.9%）」が2割台で続いている。

地域別にみると、東京圏・近畿圏、地方圏ともに「テレビ」が5割台後半であり、最も多くなっているが、東京圏・近畿圏では「ポスター（25.3%）」、「新聞（25.1%）」と続き、地方圏では「パンフレット・リーフレット（28.1%）」、「ポスター（26.1%）」が続いている（図表2-1-2）。

平成18年度調査と比較すると、全体では「テレビ（57.6%）」が14.4ポイント、「ポスター（25.6%）」が11.6ポイント、「店頭での表示（スーパーマーケット）（14.1%）」が3.9ポイント高くなっている。

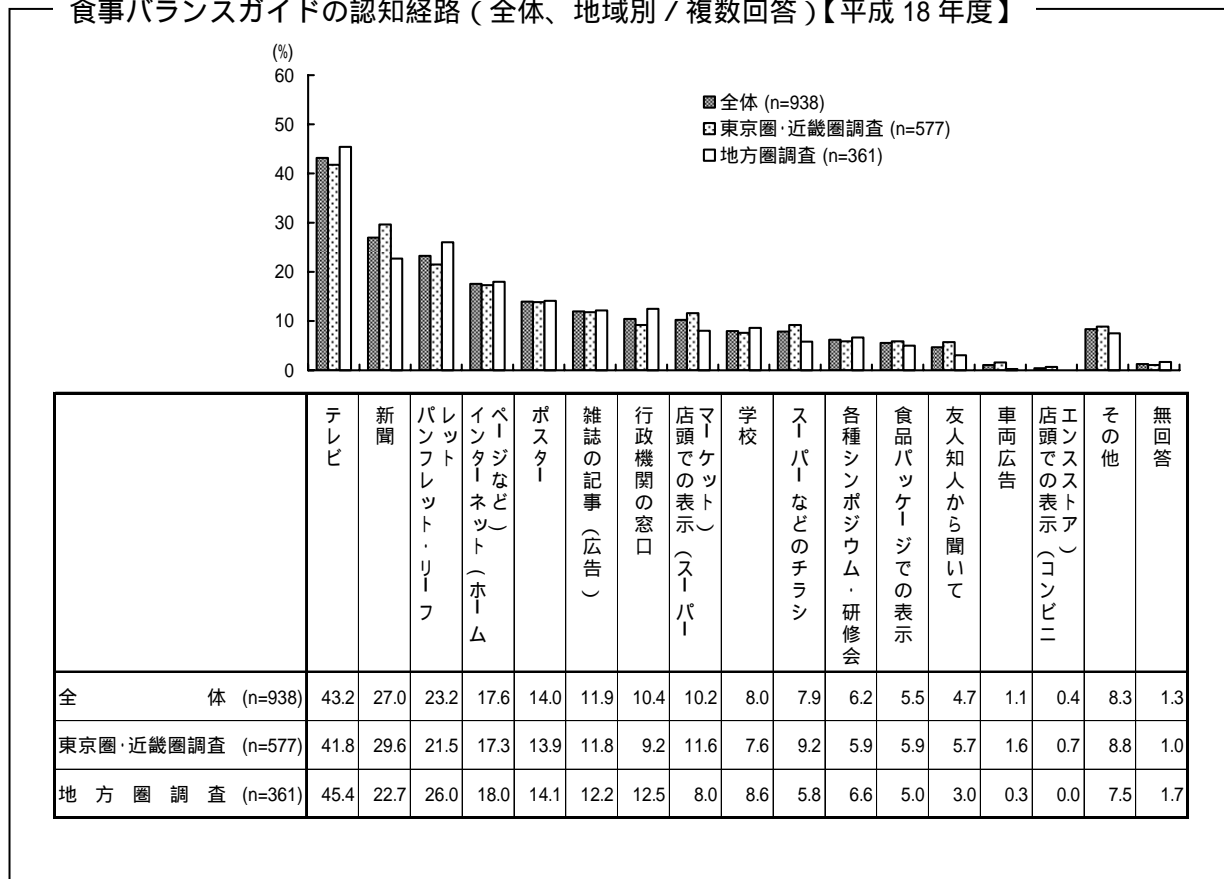
図表2-1-2 食事バランスガイドの認知経路（全体、地域別／複数回答）

《食事バランスガイドを知っている人》



	テレビ	ポスター	パンフレット・リーフレット	新聞	インターネット（ホームページなど）	店頭での表示（スーパーマーケット）	雑誌の記事（広告）	行政機関の窓口	スーパーなどのチラシ	学校	各種シンポジウム・研修会	食品パッケージでの表示	友人知人から聞いて	店頭での表示（コンビニ）	車両広告	その他	無回答
全体 (n=1,374)	57.6	25.6	25.1	24.9	17.3	14.1	13.0	9.7	7.9	7.9	6.0	4.9	4.4	1.8	1.6	6.8	0.9
東京圏・近畿圏調査 (n= 822)	56.8	25.3	23.1	25.1	15.0	15.2	13.0	8.3	8.9	7.8	5.7	5.8	4.5	1.8	1.8	7.3	1.0
地方圏調査 (n= 552)	58.9	26.1	28.1	24.6	20.8	12.5	12.9	11.8	6.5	8.2	6.5	3.4	4.3	1.8	1.3	6.0	0.7

食事バランスガイドの認知経路（全体、地域別 / 複数回答）【平成 18 年度】



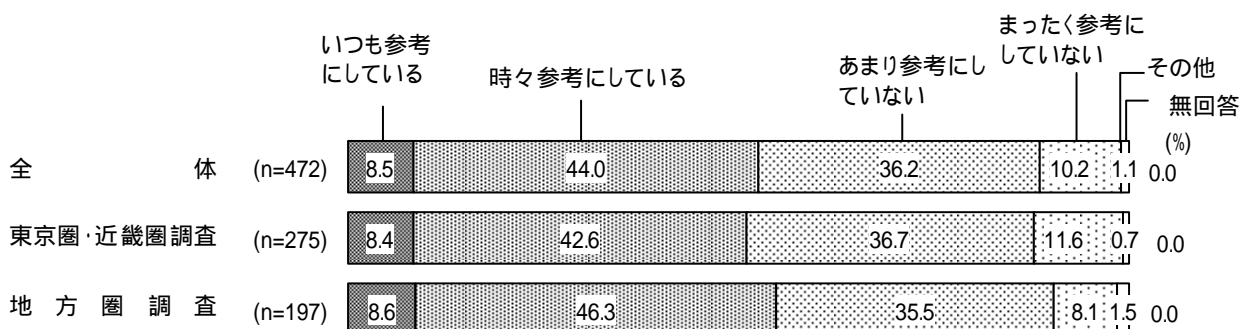
### 食事バランスガイドの参考度

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」と回答した人に、「食事バランスガイド」の参考度を聞いたところ、「いつも参考にしている」が 8.5%であり、「時々参考にしている（44.0%）」を合計した《参考にしている（52.5%）》は 5 割を超える。

地域別にみると、東京圏・近畿圏では《参考にしている》が 51.0%、地方圏では《参考にしている》が 54.9%である（図表 2 - 1 - 3 - ）。

図表 2 - 1 - 3 - 食事バランスガイドの参考度（全体、地域別）

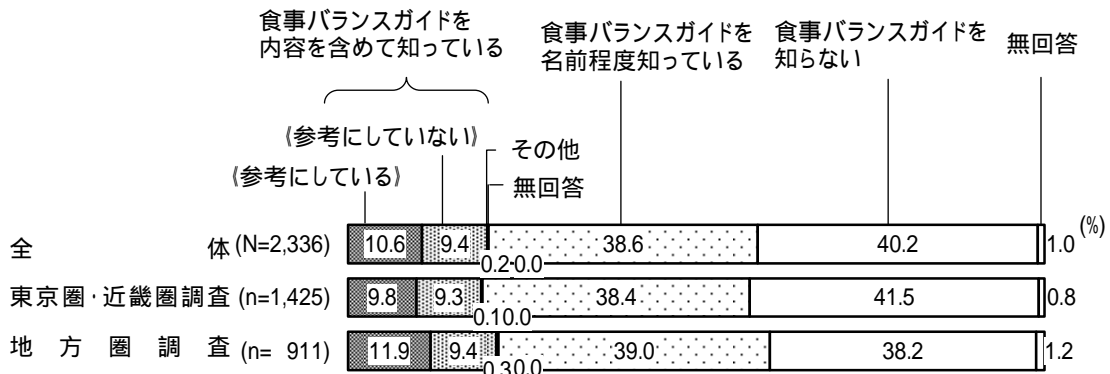
《食事バランスガイドについて内容を含めて知っている人》



なお、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、全国では10.6%、東京圏・近畿圏では9.8%、地方圏では11.9%である（図表2 - 1 - 3 - ）。

平成18年度調査と比較すると、全体では《参考にしている（10.6%）》が平成18年度（7.8%）より2.8ポイント高くなっている。

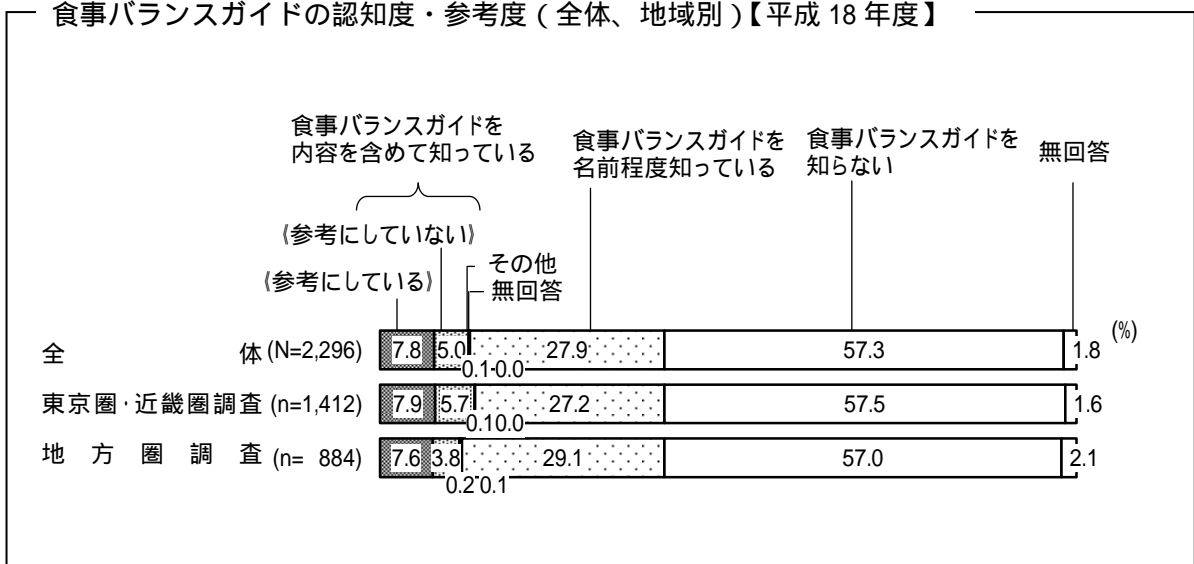
図表2 - 1 - 3 - 食事バランスガイドの認知度、参考度（全体、地域別）【昨年度比較】



《参考にしている》は「いつも参考にしている」と「時々参考にしている」の合計値

《参考にしていない》は「あまり参考にしていない」と「まったく参考にしていない」の合計値

食事バランスガイドの認知度・参考度（全体、地域別）【平成18年度】

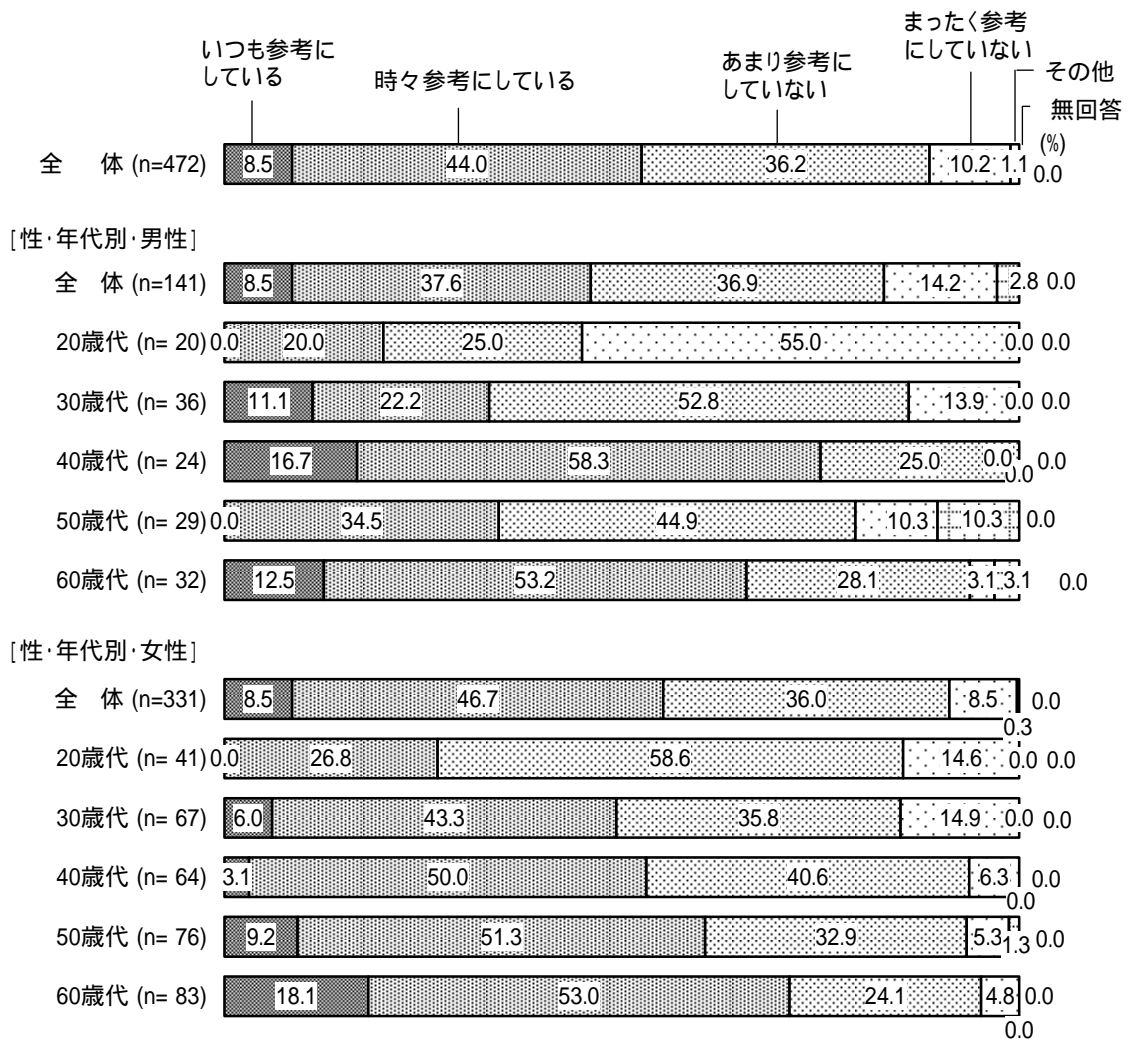




男女別にみると、女性は《参考にしている》が 55.2%であり、男性（46.1%）を 9.1ポイント上回っている。

性・年代別にみると、女性は年代が上がるほど《参考にしている》の割合が上がり、60歳代（71.1%）では7割を超えている（図表2 - 1 - 3 - ）。

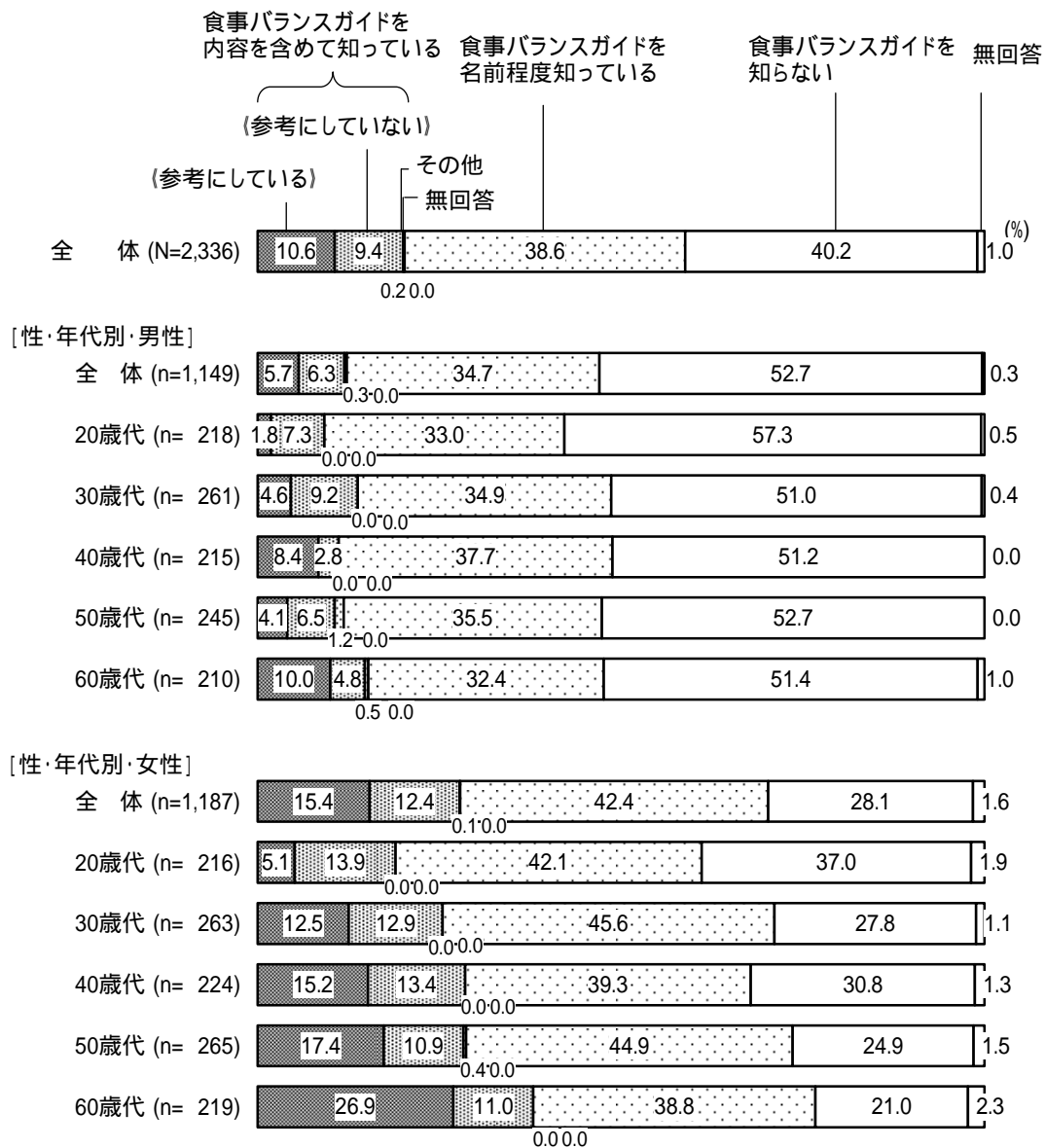
図表2 - 1 - 3 - 食事バランスガイドの参考度（全体、性・年代別）  
 < 食事バランスガイドを内容を含め知っている人 >



なお、調査対象全体の人数に対する《参考にしている》と回答した人の割合は、男女別にみると、女性が15.4%であり男性(5.7%)を9.7ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男性は60歳代で《参考にしている(10.0%)》が1割であり、他の年代は1割未満である。女性は、年代が上がるほど《参考にしている》割合が上がり、とくに、女性の60歳代(26.9%)は2割台である(図表2-1-3- )。

図表2-1-3- 食事バランスガイドの認知度、参考度(全体、性・年代別)

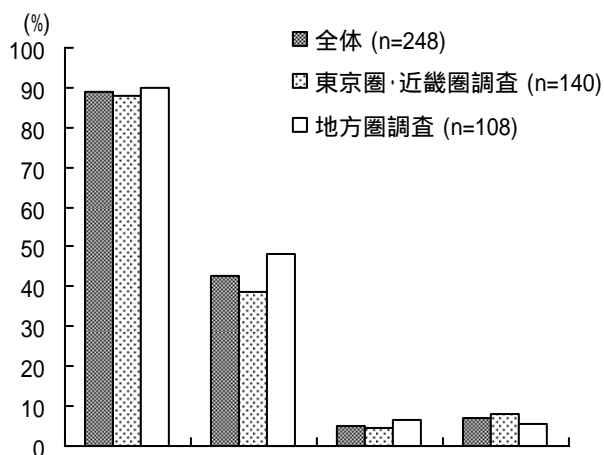


## 食事バランスガイドを参考にしている理由

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」人で、「いつも参考にしている」、「時々参考にしている」と回答した人に、「食事バランスガイド」を参考にしている理由を聞いたところ、全国では「病気等、健康上の理由から（88.7%）」が最も多く、「体型が気になるから（42.7%）」が続いている。

地域別にみると、東京圏・近畿圏、地方圏ともに「病気等、健康上の理由から」が最も多くなっている（図表2-1-4）。

図表2-1-4 食事バランスガイドを参考にしている理由（全体、地域別／複数回答）  
《食事バランスガイドについて内容を含めて知っていて、参考にしている人》



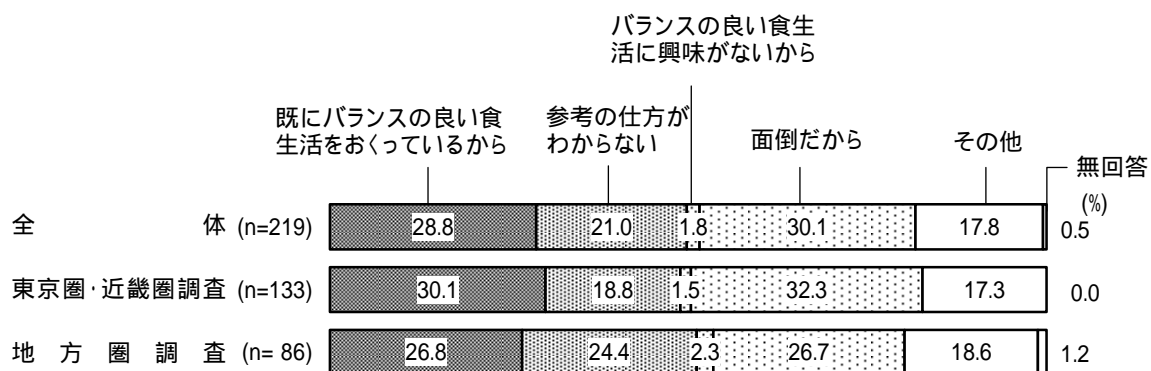
	病気等、健康上の理由など	体型が気になるか	なんとなく	その他
全 体 (n=248)	88.7	42.7	5.2	6.9
東京圏・近畿圏調査 (n=140)	87.9	38.6	4.3	7.9
地方圏調査 (n=108)	89.8	48.1	6.5	5.6

## 食事バランスガイドを参考にしていない理由

「食事バランスガイド」を「内容を含めて知っている」人で、「あまり参考にしていない」、「まったく参考にしていない」と回答した人に、「食事バランスガイド」を参考にしていない理由を聞いたところ、全国では「面倒だから（30.1%）」が最も多く、「既にバランス良い食生活をおくっているから（28.8%）」、「参考の仕方がわからない（21.0%）」が続いている。

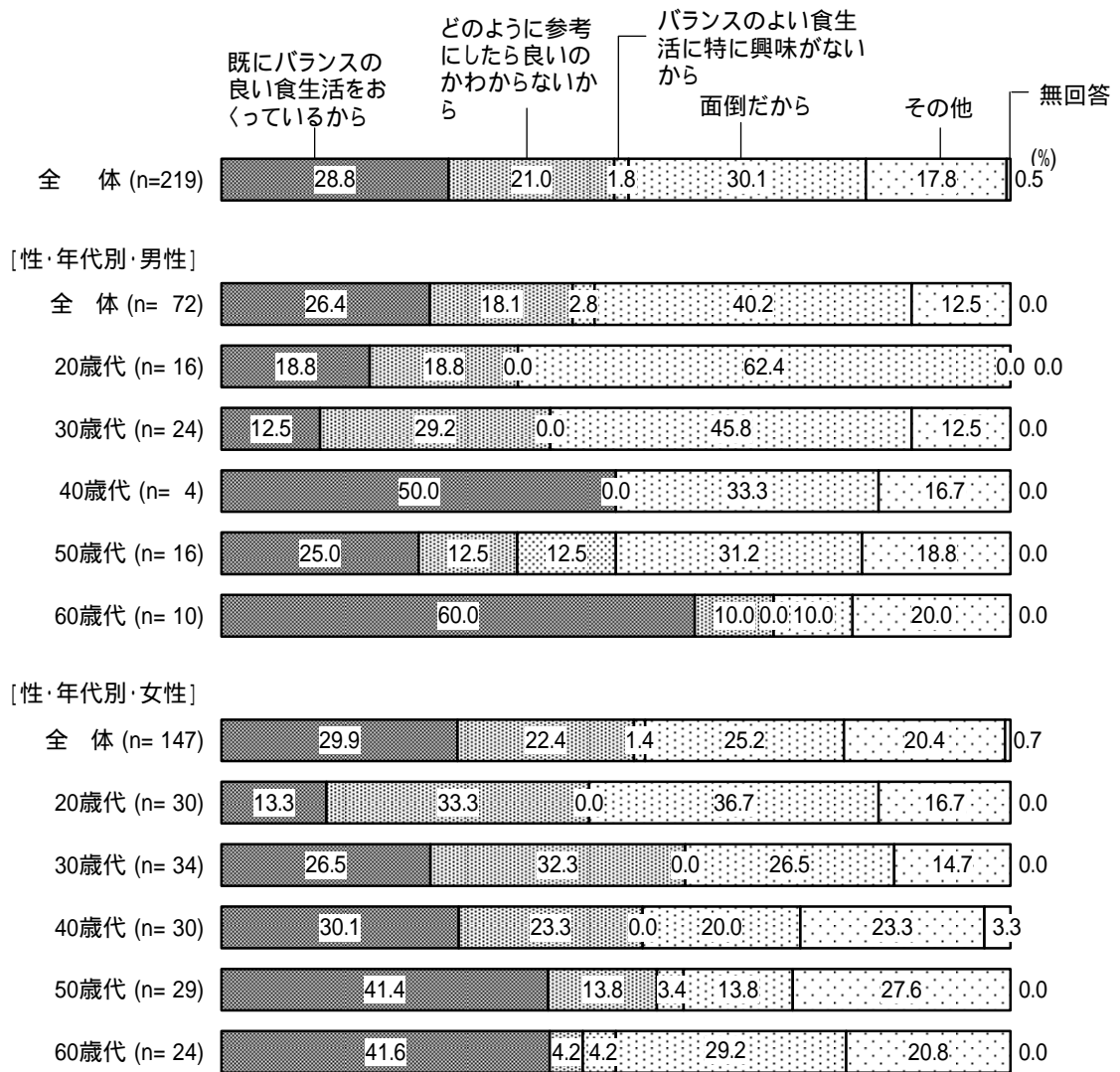
地域別にみると、東京圏・近畿圏では「面倒だから（32.3%）」が最も多く、「既にバランス良い食生活をおくっているから（30.1%）」が続いている。地方圏では、「既にバランスの良い食生活をおくっているから（26.8%）」、「面倒だから（26.7%）」がほとんど変わらない（図表2-1-5- ）。

図表2-1-5- 食事バランスガイドを参考にしていない理由（全体、地域別）  
《食事バランスガイドを知っていて、参考にしていない人》



性・年代別はサンプル数が少ないため十分には分析できないが、男女別にみると、男性は「面倒だから（40.2%）」が4割で最も多くなっている。女性は、「既にバランスの良い食生活をおくっているから（29.9%）」が最も多く、「面倒だから（25.2%）」が続いている（図表2-1-5- ）。

図表2-1-5- 食事バランスガイドを参考にしていない理由（全体、性・年代別）  
 < 食事バランスガイドを内容を含め知っていて、参考にしていない人 >

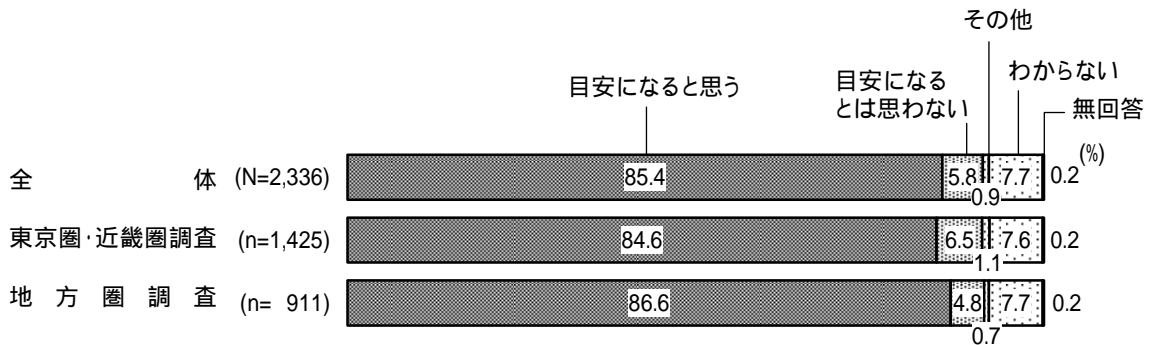


## (2) 食事バランスガイドの評価

「食事バランスガイド」の評価は、全国では「目安になると思う(85.4%)」が8割を超えている。

地域別にみると、東京圏・近畿圏、地方圏も「目安になると思う」が8割を超えている(図表2-2-1)。

図表2-2-1 食事バランスガイドの評価(全体、地域別)

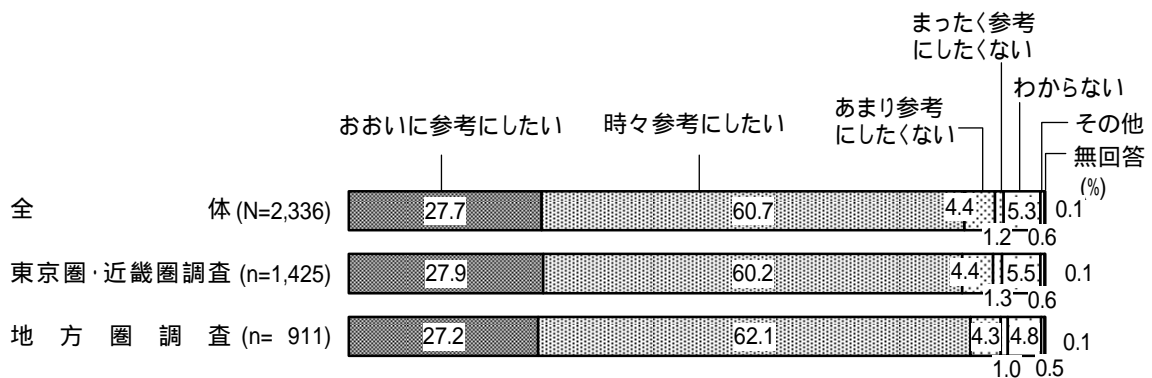


## (3) 食事バランスガイドの参考意向

「食事バランスガイド」の参考意向は、全体では、「おいに参考にしたい」が27.7%あり、「時々参考にしたい(60.7%)」を合計すると、「参考にしたい」は88.4%となっている。

地域別にみると、東京圏・近畿圏、地方圏ともに全体と大きな差はない(図表2-3-1)。

図表2-3-1 - 食事バランスガイドの参考意向(全体、地域別)【昨年度比較】



男女別にみると、女性は《参考にしたい》が 91.2%であり、男性（85.6%）を 5.6 ポイント上回っている。

性・年代別にみると、男女ともに年代が上がるほど、「おおいに参考にしたい」の割合が上がっている。「おおいに参考にしたい」の割合は、男性の 60 歳代では 3 割を超え、女性の 60 歳代では 4 割を超えている（図表 2 - 3 - 1 - ）。

図表 2 - 3 - 1 - 食事バランスガイドの参考意向（全体、性・年代別）

